

佐原の町並み

かわる版

第 2 3 号
平成11年11月
発行 小野川と佐原の町並みを考える会
佐原町並み保存会

町並み保存の先進地

中山道宿場町を訪ねて

佐原の町並みを考える

十月二十四(日)、二十五(月)の両日「小野川と佐原の町並みを考える会」と「町並み案内ボランティアの会」の会員二十四名で町並み保存の先進地である馬籠・妻籠・奈良井の宿を視察。参加者にとって得るものが多く、有意義な研修となりました。



した喫茶店、藤村ゆかりの地とあって小説に登場した宿を活用した資料館などがあつた。観光客も多く活気があつたが、連立して土産物店が目につき、商業化の色濃い雰囲気を感じました。

峠の宿場とあって石畳の坂道を登る両側に、宿、商いの店が軒を連ね、『中山道馬籠宿、京に五十二里半、江戸に八十里半』という石の道標も見られ宿場の雰囲気を感じました。

三、四年前に訪れた会員からは、「当時数軒だったのに様変わりした」との感想。

伝建地区ではないが、家屋の修理修景により軒が連なり、建物の特徴を生かした活用をしていました。町並みには地域の特産物を販売する店、土蔵を利用

妻籠宿



住民の強い意志で守られる町並み、旅人になれる街道

宿場とそれを囲む山々まで重伝建地区に選定されている南木曾町の妻籠宿。(昭和五十一年選定)町並み保存対策室長の藤原氏の出迎えを受け、昼食後宿場へ。まず、目に付いたのは「火乃要鎮」と書かれた消火栓の箱だった。要所に設置されており、日頃からの防災への取り組みと住民の心構えが感じられました。観光案内所で、「妻籠を愛する会」の小笠原氏から説明いただき、町並み保存の基本理念を伺い、来訪者が江戸時代の旅人になった気分を味わえるまちづくり、環境づくりを

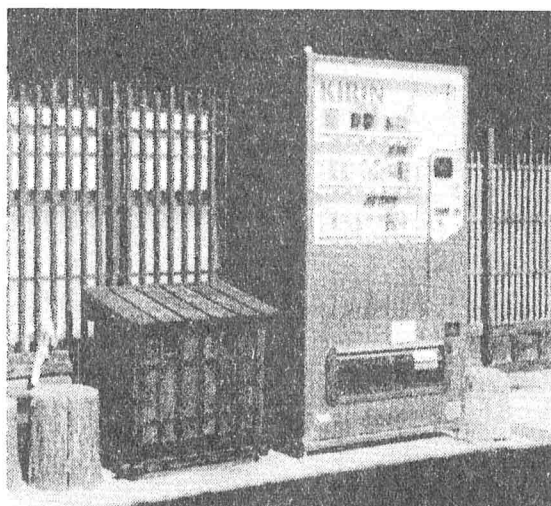
奈良井宿



長く延びる街道に切れ目なく続く家並み

二日目、月曜日の朝早く現地を訪れた為か、観光客の姿も少なく、建ち並んだ店舗の店先を覗きながら土地の人と会話を楽しむなど、やっと宿場町のしっとりとした雰囲気を感じることができました。奈良井宿は京都側を入口とし、約一キロの中山道沿いに町並みが形成されている宿場町です。(昭和五十三年、重伝建地区選定。)

商店、個人住宅はもとより消防庫などの公共的な建築物まで、また、自動販売機、ゴミ箱、空き缶



木製で整備された空き缶入れ

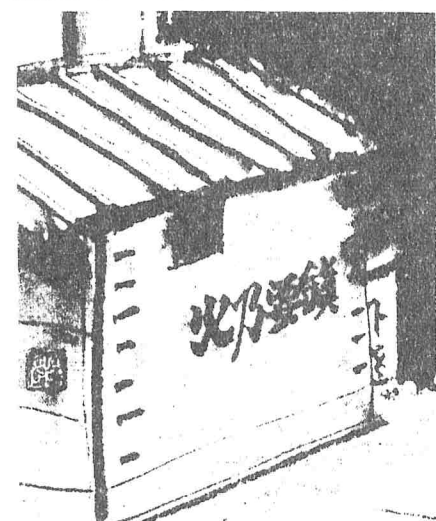
行していることに大変感銘を受けました。特に『売らない、貸さない、壊さない』の精神を貫き、自動販売機等は置かない、コーヒーマシンの営業はしないなど細部にわたる申し合わせが守られていること、建物の保存と共に環境を守ることに住民が協力している等『自分の町は自分で守る』という気概が窺えた。街道を歩くと案内所での説明のとおり、連なった家並みがなだらかな坂道に沿い、昔の旅人の気分になれる雰囲気でした。格子戸の家構えや地場産物を工夫した商品の品揃えに独自性が

先進地を見て

感じたこと、考えること

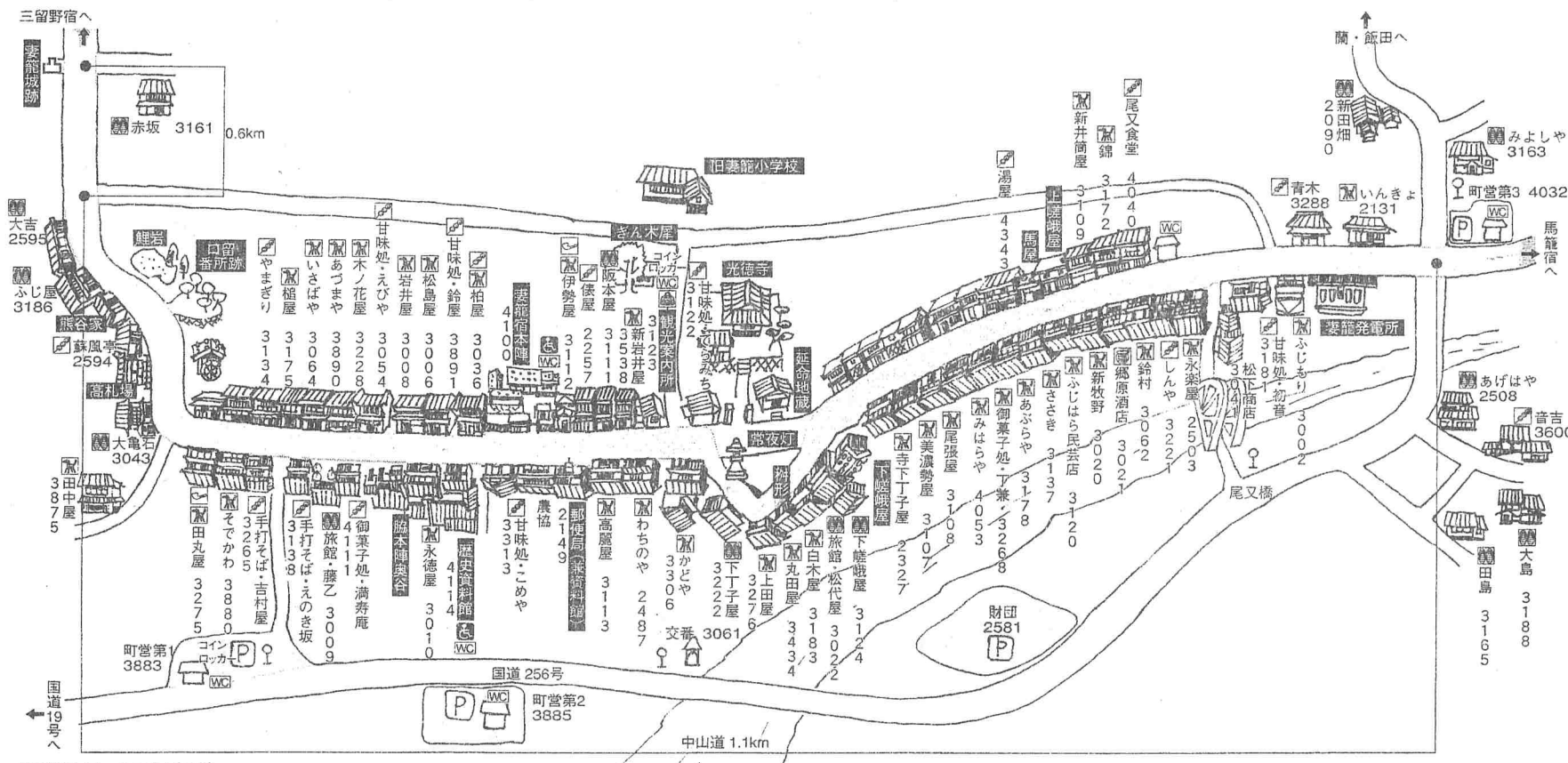
◎自分達の町を大切に守っていかうとする気持ちがストリートに出ている。
◎町を愛する気持ちがあのようになつた。
◎各家がその特徴を生かして活用している、それによって活気ある町になることに誰もが感動した。
◎町並みだけでなく、防災対策、土産物、案内図、標識、駐車場など、様々な角度から学びたいことを、今後の活動に繋げていくことが大切である。
◎今回の視察地にはなかつた町中を流れる川「小野川」が佐原にはある。これらを活かし、特徴のあるまちづくりをしていかなければならない。
◎このような話し合いの中から、保存地区に住む人達と研修し、意見を交わしながらまちづくりに力を結集していくことの必要性が確認されました。

見受けられました。行楽シーズンの日曜日と好天に恵まれたことがあって、人、また人で溢れかえり、ゆっくりと歩けないほどで、佐原の祭りを思わせる賑いでした。



消火栓が要所に設置

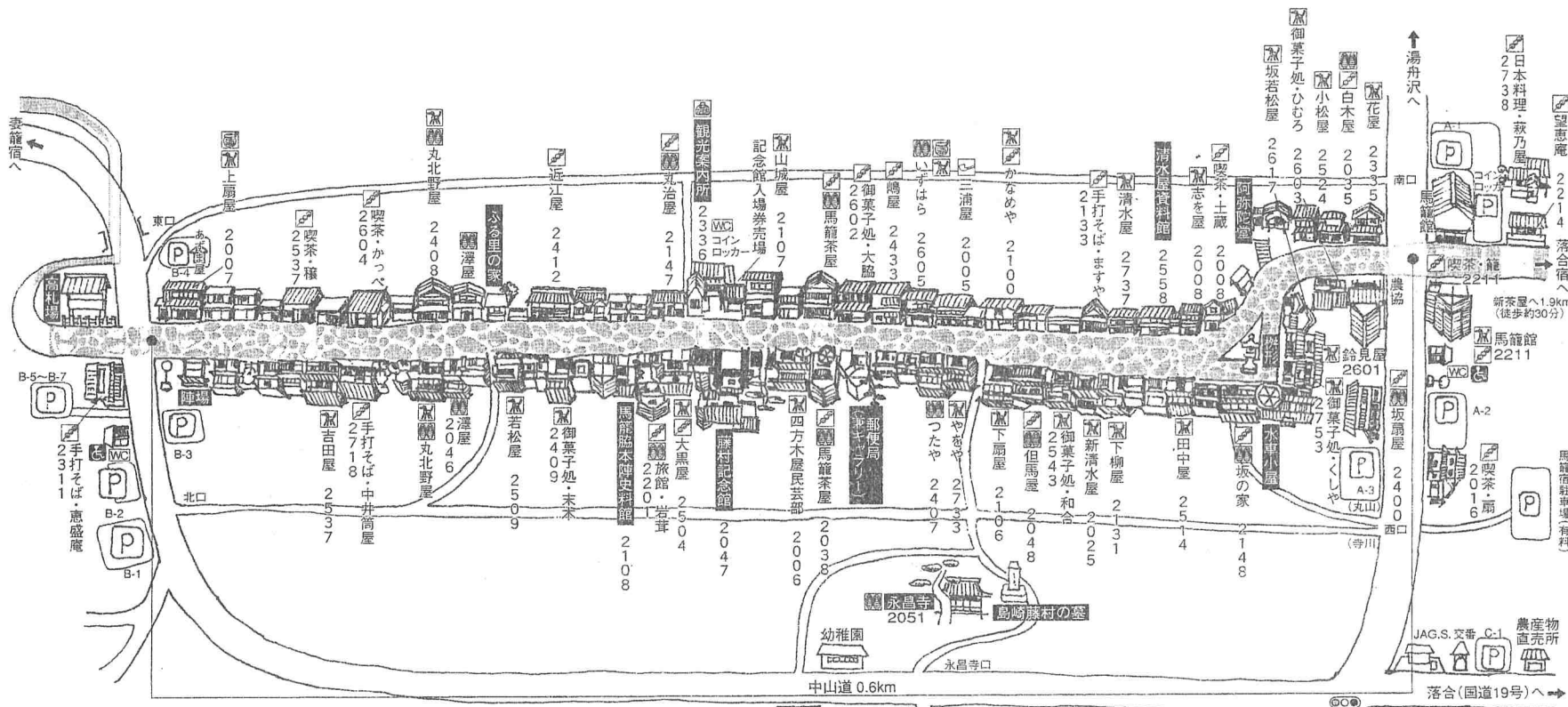
宿籠



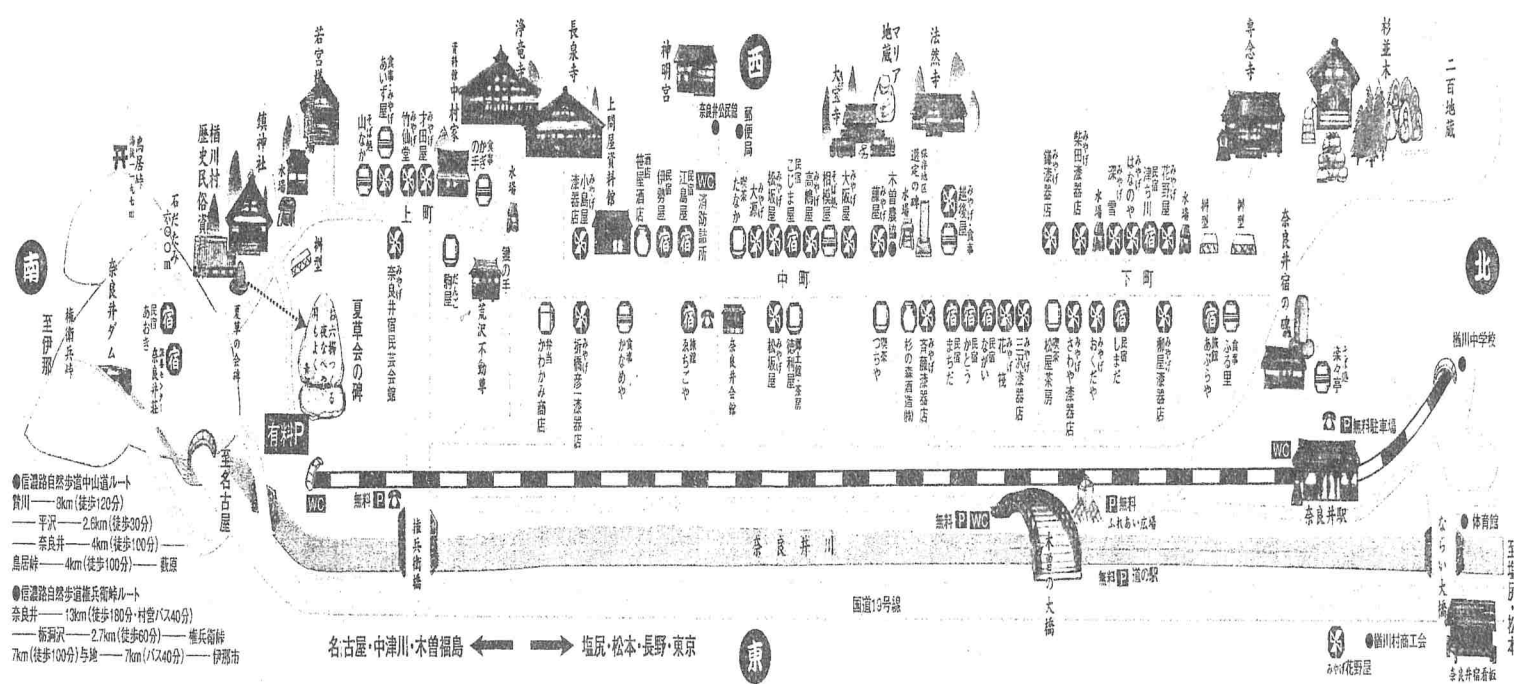
電話番号 0264(57)

※☉=旅館・民宿 ☁=みやげ屋 ☒=飲食店 ☓=酒屋 ☑=たばこ屋 ☒=手荷物預かり所のマークです。店名の下(左)は電話番号です。

馬籠



文部省選定重要伝統的建造物群保存地区 日本一の宿場街 中山道一奈良井宿ご案内図



- 宿籠自然歩道中山道ルート
附川—3km(徒歩12分)
—平沢—2.9km(徒歩30分)
—奈良井—4km(徒歩10分)
—鳥居村—4km(徒歩10分)—飯沼
- 宿籠自然歩道宿籠兵衛ルート
奈良井—13km(徒歩180分・村道174分)
—飯沼沢—2.7km(徒歩30分)—進兵衛村
7km(徒歩100分)与地—7km(174分)—伊那市

名古屋・中津川・木曾側 ← → 塩尻・松本・長野・東京 東